日本初の自力建設エコビレッジ

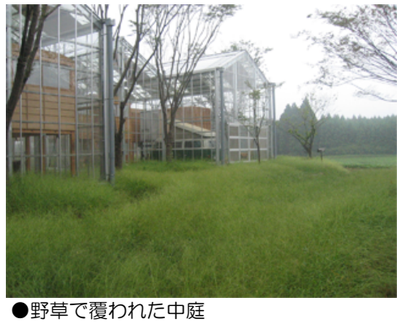
くりもとミレニアムシティ第１期完成

●第１期オープニングフェアの様子

●ガラスの温室の中のCOYA

ミレニアムシティの独自プロジェクトであり、日本初のエコビレッジとなる 「くりもとミレニアムシティ」が、2003年12月21日に第１期のオープニングを迎えました。

この施設は、共有の別荘として建設したものですが、同時に都市を農村をつなぐ施設であり、都市＝森林＝農地というミレニアムシティの環境蘇生の理念を具体化した施設です。



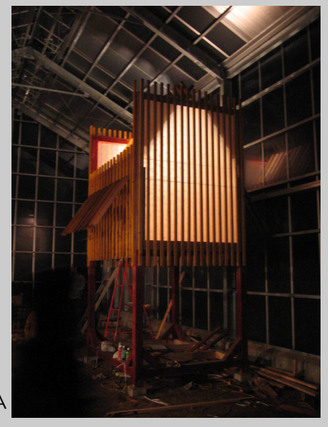
●野草で覆われた中庭

COYA （小屋）

グラスハウスの中には、１坪サイズのCOYAが32棟（34坪）建てられています。COYAは２階建てとなっており、１階部分は共有スペース、２階部分は専用スペースとして利用します。

COYAは世界に発信するものとして、和風をモチーフにデザインされています。 下見板張タイプ、強化ダンボールタイプなどの他、明治大学建築学科松本研究室の学生の皆さんが設計施工した行灯のようなCOYAもあります。

●下見板タイプと茶室 （永原幹夫氏撮影）

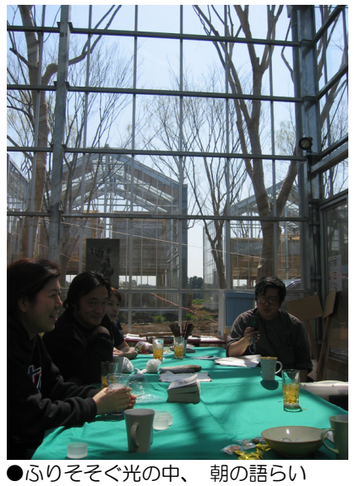


●行灯のようなCOYA

●春を迎えて巨木の木陰になる温室

●建物が見えなくなる夕景

●夜景



●ふりそそぐ光の中、 朝の語らい

森の茶室

森の茶室は、茶室プロジェクトから生まれました。COYAを2棟つないで5帖の広さの茶室としています。明治大学建築学科松本研究室の学生の皆さんが設計施工しました。亭主の土井俊玉さんが野の花を飾ってもてなしてくださいます。

障子紙に囲まれた空間は、外の明るさがそのまま。夕暮れに虫の音に耳を傾けながらいただくお茶もまた格別です。８月の完成以来、毎月お茶会を開催しています。